

講義名称	商法	担当教員名	小板橋 信二
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	法律 CA7 DI 実務経験のある教員による	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	SOC231

授業のキーワード	株式会社、経営者と出資者、企業活動
授業の概要	現代の経済の中心的な担い手は会社(企業)である。会社内の生産と会社間の取引の組み合わせを企業活動と言ひ、企業活動の法的な基礎が会社法である。会社法の基礎知識を習得し、制度の課題を検討していく。
期待される学習成果(目標)	1. 会社法の基礎的な用語・制度を理解できる。 2. 企業活動及び企業の利害関係者と会社法の関係を理解できる。 3. ビジネスで必要とされる会社法の法的な常識を身に付けることができる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	企業活動の法的な基礎である会社法
2	会社の意義	ビジネス・システムの主役である株式会社
3	会社法 会社の種類	会社法の成り立ち、会社法が定める会社とは
4	会社の設立	会社の設立手続きは、定款作成→出資引受・払込→役員選定→会社登記
5	株主	株主の権利と義務、株式の内容と種類、株式の譲渡と権利行使、自己株式、株式の併合と分割
6	会社の機関①	会社法での機関設計のルール、株主総会
7	会社の機関②	取締役会、監査役会
8	会社の機関③	会計監査人、会計参与、指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社
9	会社の計算	計算書類・事業報告、決算の手続き、剰余金の配当
10	会社の資金調達	デット・ファイナンスとエクイティ・ファイナンス
11	会社の組織変動①	企業の買収 (M&A) ・再編 (組織再編)
12	会社の組織変動②	事業の譲渡・譲受け、公開買付け、キャッシュ・アウト
13	会社の消滅	会社の解散、清算、倒産手続き
14	手形・小切手	手形・小切手の基礎知識、手形取立と手形交換所の仕組み
15	全体のまとめ	講義全体の中から重要な部分について確認する

定期試験	講義で取り上げた内容の中から、短答式問題並びに記述式問題の試験を実施
授業時間外学習	(予習) 事前に配布するプリントの該当箇所を読み、分からない漢字や用語を調べる。60分
評価方法	期末試験70%、課題・授業貢献度30%
使用する教科書(必ず購入してください)	尾崎哲夫『はじめての会社法(第11版)』自由国民社
参考文献	川井信之『手にとるようにわかる会社法入門』かんき出版 堀龍兒、淵邊善彦『ビジネス常識としての法律(第3版)』日本経済新聞出版